

## 第 104 回大腸癌研究会 遺伝性大腸癌委員会 議事録

- 日時：令和 2026 年 1 月 22 日（木）13：30-14:00
- 場所：会場： 浜松町コンベンションホール 第 1-A 会場（5F メインホール A）
- ハイブリッド開催（会場＋Web）
- 出席者（五十音順、敬称略、\* Web 参加）

〔委員長〕田中屋宏爾、〔委員〕石田秀行、上野秀樹（代理：菊家健太）、金坂卓、隈元謙介、小林宏寿（代理：南角哲俊）\*、佐々木和人、須並英二、関根茂樹、高雄暁成\*、高橋佑典、千野晶子、富田尚裕、中島健\*、長谷川博俊\*、檜井孝夫、平田敬治、藤吉健司、三口真司、宮倉安幸、山口達郎、山田真善、吉田玲子\*

〔オブザーバー、同伴者などの参加者〕秋山泰樹、新井富生、石丸 啓、牛久哲男、奥川喜永、加藤宏紀、川副徹郎、河村英恭、木下敬史、斎藤勇利、坂元 慧、重安邦俊、志村匡信、白浜秀也、鈴木陽三、水内祐介、高雄美里\*、高見澤康之、瀧山亜希、竹内洋司、谷口文崇、谷優 佑、中野 薫、中野麻恵、中村有貴、夏目壮一郎、根本哲生、碓 彰一、久野晃路、平井悠一郎、藤島史善、森田宗新、母里淑子\*、山口瑞生、横山雄一郎、吉敷智和、（氏名判読困難3名）計 62 名

〔欠席者〕石川敏昭、小森康司、野口竜剛、古川洋一、別府直仁

### ● 報告事項

#### 1. 前回議事録

委員長から前回議事録の報告があった。

#### 2. 委員・オブザーバー

委員長から、委員の異動などに伴う変更が報告された。

#### 3. 会計報告

委員長から、大腸癌研究会からの補助金、残高などが報告された。

#### 4. 共同研究計画書の改訂

委員長から、共同研究者の異動に伴う変更が報告された。

#### 5. 共同臨床研究の進捗状況

資料 p2

委員長から、以下の、2つの共同臨床研究につき進捗状況が報告された。

##### 1) 『家族性大腸腺腫症(FAP)に関する後方視的多施設共同二次研究』

誌上発表：計 5 件、学会発表：計 5 件

##### 2) 『後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究』

誌上発表：計 6 件、学会発表：計 8 件

また、以下の論文投稿準備中の 2 編につき、筆頭執筆者（予定）から、概要の報告があった。

- ・本邦における家族性大腸腺腫症の大腸外随伴病変に対するサーベイランスの現状  
～後方視的多施設共同コホート研究より～（防衛医科大学 外科学講座：菊屋健太先生、上野秀樹委員）
- ・The validation of the newly proposed classification and current management of the desmoid tumors associated with familial adenomatous polyposis: the results of a Japanese multicenter observational study. (産業医科大学第1外科：秋山泰樹先生、平田敬治委員)

● 審議事項

6. 共同研究参加施設の利益相反管理手数料.

共同研究参加施設の利益相反管理手数料については、遺伝性大腸癌委員会から資金補助を行うことが可決された

文責：田中屋宏爾

資料 共同研究進捗状況

FAP二次研究（632症例）

患者登録施設（登録数順）	代表者	登録数	テーマ	学会発表	進捗
埼玉医大総合医療センター 大阪国際がんセンター	石田秀行 金坂 卓	150 125	APC-associated polyposis 大腸癌の発生（FAP診断時の併存症例の特徴など）	済	掲載 執筆中
がん研有明病院	千野晶子 野口竜剛	79	デスモイド腫瘍の頻度・対処方法・転機 についての 臨床病理学的検討		執筆中
都立駒込病院	山口達郎	77	FAPの死因（予後）		執筆中
東京大学医学部附属病院 大腸肛門外科	佐々木和人	45	FAP症例における胃癌の発生・治療	済	掲載
埼玉県立がんセンター	吉田玲子	32			
久留米大学 消化器外科学	藤吉健司	31	結婚率・妊孕率	済	掲載
兵庫医科大学 下部消化管外科	別府直仁	25	FAP患者における非手術症例の長期経過	済	掲載
防衛医科大学 外科学講座	上野秀樹	16	本邦における大腸外病変の診断と サーベイランスの現状	済	執筆中
産業医科大学 第1外科	平田敬治	16	デスモイド腫瘍の病期分類・予後と薬物療法の実際		執筆中
自治医大附属さいたま 医療センター 一般・消化器外科	宮倉安幸	14	乳頭部腺腫と十二指腸腺腫	済	掲載
岩国医療センター	田中屋宏爾	13	甲状腺癌	済	執筆中
東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科 総合外科学分野	(石川敏昭*)	5	-	-	
杏林大学医学部 消化器一般外 科・下部消化管外科	須並英二	3	-	-	
大阪医療センター	高橋佑典	1	-	-	

\*所属施設異動

■ 誌上発表

1. Matsubara T, Beppu N, Ikeda M, Ishida H, Takeuchi Y, Nagasaki T, Takao A, Sasaki K, Akagi K, Sudo T, Ueno H, Yamaguchi T, Tomita N, Ajioka Y. Current clinical practice for familial adenomatous polyposis in Japan: A nationwide multicenter study. Ann Gastroenterol Surg. 2022 May 24;6(6):778-787.

2. Mori Y, Ishida H, Chika N, Ito T, Amano K, Chikatani K, Takeuchi Y, Kono M, Shichijo S, Chino A, Nagasaki T, Takao A, Takao M, Nakamori S, Sasaki K, Akagi K, Yamaguchi T, Tanakaya K, Naohiro T, Ajioka Y. Usefulness of genotyping APC gene for individualizing management of patients with familial adenomatous polyposis. *Int J Clin Oncol.* 2023;28(12):1641-1650.
3. Miyakura Y, Yamaguchi T, Lefor AK, Tamaki S, Takao A, Takao M, Mori Y, Chikatani K, Ishida H, Kono M, Takeuchi Y, Ishikawa H, Nagasaki T, Sasaki K, Matsubara T, Hirata K, Taniguchi F, Tanakaya K, Tomita N, Ajioka Y. Clinical features and distribution of the APC variant in duodenal and ampullary polyps in patients with familial adenomatous polyposis: a multicenter retrospective cohort study in Japan. *Int J Clin Oncol.* 2024 Feb;29(2):169-178
4. Sasaki K, Kawai K, Nozawa H, Ishihara S, Ishida H, Ishibashi K, Mori Y, Shichijo S, Tani Y, Takeuchi Y, Chino A, Takao M, Fujiyoshi K, Matsubara T, Miyakura Y, Taniguchi F, Yamaguchi T, Tanakaya K, Tomita N, Ajioka Y. Risk of gastric adenoma and adenocarcinoma in patients with familial adenomatous polyposis in Japan: A nationwide multicenter study. *J Gastroenterol.* 2024 Mar;59(3):187-194
5. Fujiyoshi K, Sudo T, Fujita F, Tanihara S, Ishida H, Shichijo S, Chino A, Nagasaki T, Takao A, Sasaki K, Akagi K, Matsubara T, Ueno H, Hirata K, Miyakura Y, Ishikawa T, Sunami E, Takahashi Y, Yamaguchi T, Tanakaya K, Tomita N, Ajioka Y. Marital status after colorectal surgery in familial adenomatous polyposis: a nationwide multicenter study in Japan. *Int J Clin Oncol.* 2024 Sep;29(9):1274-1283.

#### ■ 学会発表

1. 田中屋宏爾、石田秀行、竹内洋司、長壽寿矢、山口達郎、佐々木和人、赤木 究、主藤朝也、松原孝明、上野秀樹、平田敬治、宮倉安幸、石川敏昭、須並英二、三代雅明、富田尚裕、杉原健一。家族性大腸腺腫症における甲状腺癌に関する検討 -大腸癌研究会多施設共同研究-。第9回日本家族性大腸腺腫症研究会学術集会 2021年9月（Web開催）
2. 藤吉健司、主藤朝也、沼田早苗、石田秀行、竹内洋司、千野晶子、長崎寿矢、佐々木和人、赤木 究、松原孝明、上野秀樹、平田敬治、宮倉安幸、石川敏昭、須並英二、山口達郎、富田尚裕、田中屋宏爾、味岡洋一。家族性大腸腺腫症における結腸切除術後有配偶と遺伝カウンセリング・遺伝学的検査の関連。第28回日本遺伝性腫瘍学会学術集会（要望演題）。2022年6月岡山
3. 佐々木和人、川合一茂、石原聡一郎、石田秀行、母里淑子、長壽 寿矢、藤吉 健司、松原孝明、上野秀樹、平田敬治、宮倉安幸、田中屋宏爾、石川敏昭、須並 英二、富田尚裕 家族性大腸腺腫症患者における胃腺腫、胃癌の発生に関する検討：（多施設共同コホート試験）第84回日本臨床外科学会総会（パネルディスカッション）。2022年11月福岡
4. 母里淑子、石田秀行、近 範康、伊藤哲哉、天野邦彦、近谷賢一、竹内洋司、河野光泰、七條智聖、千野晶子、長壽寿矢、高雄暁成、高雄美里、中守咲子、佐々木和人、赤木 究、山口達郎、田中屋宏爾、富田尚裕、味岡洋一。家族性大腸腺腫症に対する医学的管理の個別化における APC 遺伝子バリエーションの有用性の検討。第78回日本大腸肛門病学会学術集会 2023年11月 熊本

5. 菊家健太、上野秀樹、味岡洋一. 本邦における家族性大腸腺腫症の大腸外随伴病変に対するサーベイランスの現状～後方視的多施設共同コホート研究より～. 第33回JDDW 2025 2025年10月 神戸

## リンチ症候群CS研究 (316例)

患者登録施設 (登録数順)	代表者	登録数	テーマ	学会発表	論文発表
がん研有明病院	千野晶子 野口竜剛	88	発生する大腸病変のバリエーション別の特異性	済	掲載
埼玉県立がんセンター	吉田玲子	53			
東京都立駒込病院	山口達郎	48		済	
国立研究開発法人 国立がん研究センター	山田真善	46			
岩国医療センター	田中屋宏爾	32	大腸外関連腫瘍の発生	済	掲載
埼玉医科大学総合医療センター	石田秀行	20	術式別異時性大腸癌発生リスクの検討 (対象: 外科手術例) 発生部位による比較①結腸、②直腸、③横行結腸		2編掲載
愛知県がんセンター	小森康司	6	発生する大腸病変の年代別の相違について	済	執筆中
東京大学医学部附属病院 大腸肛門外科	佐々木和人	6	LS関連大腸癌症例と散発性大腸癌症例 (東大病院症例) の比較検討	済	執筆中
県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科	三口真司	5	未発症者 腺腫/癌 累積発生リスク	済	執筆中
産業医科大学 第1外科	平田敬治	4			
久留米大学 消化器外科学	藤吉健司	4	喫煙歴・飲酒歴と発癌リスクの関連		掲載
自治医大附属さいたま 医療センター一般・消化器外科	宮倉安幸	3	術後の下部消化管内視鏡検査の忍容性と安全性の検討	済	掲載
東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科 総合外科学分野	(石川敏昭*)	1			

\*所属施設異動

### ■ 誌上発表

- Fujiyoshi K, Sudo T, Fujita F, Chino A, Akagi K, Takao A, Yamada M, Tanakaya K, Ishida H, Komori K, Ishihara S, Miguchi M, Hirata K, Miyakura Y, Ishikawa T, Yamaguchi T, Tomita N, Ajioka Y, Sugihara K. Risk of first onset of colorectal cancer associated with alcohol consumption in Lynch syndrome: a multicenter cohort study. Int J Clin Oncol. 2022 Jun;27(6):105159
- Miyakura Y, Chino A, Tanakaya K, Lefor AK, Akagi K, Takao A, Yamada M, Ishida H, Komori K, Sasaki K, Miguchi M, Hirata K, Sudo T, Ishikawa T, Yamaguchi T, Tomita N, Ajioka Y. Current practice of colonoscopy surveillance in patients with Lynch syndrome: A multicenter retrospective cohort study in Japan. DEN Open. 2022 Nov 1;3(1):e179.
- Chikatani K, Ishida H, Mori Y, Nakajima T, Ueki A, Akagi K, Takao A, Yamada M, Taniguchi F, Komori K, Sasaki K, Sudo T, Miyakura Y, Chino A, Yamaguchi T, Tanakaya K, Tomita N, Ajioka Y. Risk of metachronous colorectal cancer after colectomy for first colon cancer in Lynch syndrome: multicenter retrospective study in Japan. Int J Clin Oncol. 2023 Dec;28(12):1633-1640.
- Chikatani K, Ishida H, Mori Y, Nakajima T, Ueki A, Akagi K, Takao A, Yamada M, Taniguchi F, Komori K, Sasaki K, Sudo T, Miyakura Y, Chino A, Yamaguchi T, Tanakaya K, Tomita N, Ajioka Y. Risk of metachronous colorectal cancer after surgical resection of index rectal cancer in Lynch syndrome: a multicenter retrospective study in Japan. Surg Today. 2024 Sep;54(9):1075-1083.

5. Chino A, Tanakaya K, Nakajima T, Akagi K, Takao A, Yamada M, Ishida H, Komori K, Sasaki K, Miguchi M, Hirata K, Sudo T, Miyakura Y, Ishikawa T, Yamaguchi T, Tomita N, Ajioka Y. Colorectal cancer and advanced adenoma characteristics according to causative mismatch repair gene variant in Japanese colorectal surveillance for Lynch syndrome. J Gastroenterol. 2024 Aug;59(8):699-708.
6. Taniguchi F, Tanakaya K, Chino A, Nakajima T, Ueki A, Noguchi T, Miyake E, Akagi K, Yamamoto G, Takao A, Takao M, Yamada M, Makiguchi ME, Ishida H, Mori Y, Miguchi M, Hirata K, Yamaguchi T, Tomita N, Ajioka Y. Risks of extracolonic tumours in patients with Lynch syndrome: a nationwide multicentre cohort study in Japan. Jpn J Clin Oncol 2025 Sep 5;55(9):1005-1012.

■ 学会発表

1. 谷口文崇、田中屋宏爾、千野晶子、赤木 究、高雄暁成、山田真善、石田秀行、小森康司、佐々木和人、三口真司、平田敬治、主藤朝也、宮倉安幸、石川敏昭、山口達郎、富田尚裕、味岡洋一。リンチ症候群における大腸外関連腫瘍の発生リスク –大腸癌研究会多施設共同後方視的観察研究–。第 28 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会。2022 年 6 月 岡山
2. 千野晶子、田中屋宏爾、山口達郎、赤木 究、高雄暁成、小泉浩一、山田真善、石田秀行、小森康司、佐々木和人、三口真司、平田敬治、主藤朝也、宮倉安幸、石川敏昭、富田尚裕、味岡洋一。リンチ症候群における大腸外関連腫瘍の発生リスク –大腸癌研究会多施設共同後方視的観察研究–。第 28 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会（シンポジウム）。2022 年 6 月 岡山
3. 宮倉安幸、千野晶子、田中屋宏爾、赤木 究、高雄暁成、山田真善、石田秀行、小森康司、佐々木和人、三口真司、平田敬治、主藤朝也、石川敏昭、山口達郎、富田尚裕、味岡洋一。リンチ症候群に対する下部消化管内視鏡検査の質と安全性の検討～遺伝性大腸癌委員会多施設共同研究～ 第 97 回大腸癌研究会学術集会。2022 年 7 月 東京
4. 三口真司、千野晶子、赤木 究、高雄暁成、山田真善、田中屋宏爾、石田秀行、小森康司、佐々木和人、平田敬治、主藤朝也、宮倉安幸、石川敏昭、山口達郎、富田尚裕、味岡洋一。大腸切除歴のないリンチ症候群患者における大腸癌および腺腫の累積発生リスク 第 97 回大腸癌研究会学術集会。2022 年 7 月 東京
5. 高雄暁成、飯塚敏郎、高雄美里、千野晶子、赤木 究、山田真善、田中屋宏爾、石田秀行、小森康司、佐々木和人、三口真司、平田敬治、主藤朝也、山口達郎、富田尚裕、味岡洋一。リンチ症候群における post-colonoscopy colorectal cancer の臨床病理学的特徴 第 97 回大腸癌研究会学術集会。2022 年 7 月 東京
6. 坂元 慧、佐々木 和人、石原聡一郎、山口達郎、田中屋宏爾、千野晶子、富田尚裕、味岡洋一。Lynch 症候群患者における大腸癌術後の異時性大腸腫瘍に関する検討：散発性大腸癌症例との比較検討(多施設共同コホート試験) 第 97 回大腸癌研究会学術集会。2022 年 7 月 東京
7. Takao A, Iizuka T, Takao M, Chino A, Akagi K, Yamada M, Tanakaya K, Ishida H, Komori K, Sasaki K, Miguchi M, Hirata K, Sudo T, Miyakura Y, Ishikawa T, Yamaguchi T, Tomita N, Ajioka Y. Clinicopathological Features of Post-Colonoscopy Colorectal Cancer in Japanese Lynch Syndrome Patients: A Multicentric Retrospective Observational Study ASCO-GI 2024 Jan, San Francisco
8. 小森康司、清水泰博、井本逸勢、長崎寿矢、植木有紗、中島 健、赤木 究、山本 剛、高雄美里、夏目壮一郎、山田真善、牧口茉衣、谷口文崇、三宅英輝、石田秀行、千野晶子、山口達郎、田中屋宏爾、富田尚裕、味岡洋一。Lynch 症候群 (Lynch syndrome ; LS) の時代別にみた臨床病理学的所見の変遷 について。第 124 回日本外科学会定期学術集会（サージカルフォーラム）2024 年 4 月 愛知